

2013年秋のタカの渡り多点観察結果

2013年は9月22日（日）に県内7か所でタカの渡りの一斉観察を行いました。加えてその前後の記録が寄せられましたので、ここにまとめて報告します。

この間（9/17～9/30）、サシバ40±羽、ハチクマ3羽、ノスリ4羽、ツミ1羽、ミサゴ1羽の計49±羽のタカ類の渡りを確認しました（表1、表2）。

9月22日は各地で晴天となり、タカの渡りが確認できたのは6か所で、サシバ16羽、ハチクマ3羽、ノスリ4羽、ミサゴ1羽でした。○牛伏山は「天候が下り坂との予報、観察にはあまり適していないと思われた。結果的にサシバ4、ハチクマ2、ミサゴ1の渡り個体

が見られたことは望外のことであった。ただし、ハチクマを除き遠方での飛翔であり、観察ポイントとの関連は薄い。例年との比較で、観察地より東方（おそらく埼玉県境付近）を渡って行くルートが存在しているように思われ、新たなポイントの設定も必要かもしれない」と葛生淳一さんは観察地点の追加について言及しています。

○大室公園は、「今回、サシバの観察では久しぶりの確認であった。数は頭上通過の1羽のみであった。飛行ルートが東→西であり、直線的な通過から渡りであると判断できると思う。また、飛行ルートのはるか前方（望遠鏡でも判別できない程だが）に4～5羽を確

表1 観察地と観察時間及び天気（2013年秋）

No.	観察地	市町村	月日	観察時間	天気	観察者	人数
1	牛伏山	高崎市	9/22	9:30～12:00	晴	葛生淳一	11
3	大室公園	前橋市	9/22	9:00～12:00	晴	小林廣喜	13
4-1	笠懸総合運動場	みどり市	9/22	9:00～12:00	晴	水野博晶	4
4-2	〃	〃	9/28	13:40～15:40	晴	水野博晶	1
5	城 沼	館林市	9/22	8:00～12:00	晴	松本文勝	5
6	桜 山	藤岡市	9/22	8:55～12:05	晴	鈴木正利	6
7-1	境島村(利根川)	伊勢崎市	9/17	9:00～11:30	快晴	小茂田英彦	1
7-2	〃	〃	9/18	8:40～11:10	〃	〃	2
7-3	〃	〃	9/19	8:00～11:10	〃	〃	1
7-4	〃	〃	9/20	7:50～11:15	〃	〃	2
7-5	〃	〃	9/21	7:50～11:00	晴のち快晴	〃	1
7-6	〃	〃	9/22	8:00～11:00	晴	〃	2
7-7	〃	〃	9/23	8:40～10:40	曇	〃	2
7-8	〃	〃	9/27	9:10～11:20	快晴	〃	1
7-9	〃	〃	9/28	8:40～11:30	〃	〃	2
7-10	〃	〃	9/29	8:40～11:20	〃	〃	2
7-11	〃	〃	9/30	8:50～10:10	〃	〃	1
8	渋川市総合公園	渋川市	9/22	8:00～12:00	晴	飯塚博文	7
9	水道山公園	太田市	9/27	10:07～12:30	快晴	堀口忠男	2

表 2 タカ類の観察数(2013年秋)

月 日	No.	観 察 地	サ シ バ	ハ チ ク マ	ノ ス リ	ツ ミ	ミ サ ゴ	計
9/18	7-2	境 島 村 (利 根 川)	20 ±					20 ±
9/20	7-4	"	3					3
9/21	7-5	"	1					1
9/22	1	牛 伏 山	4	2			1	7
	3	大 室 公 園	1					1
	4-1	笠 懸 総 合 運 動 場			2			2
	5	城 沼			2			2
	7-6	境 島 村 (利 根 川)	11					11
	8	渋 川 総 合 公 園		1				1
9/27	9-1	水 道 山 公 園				1		1
種 別 計			40 ±	3	4	1	1	49 ±

認したが、鳥種の判断までには至らなかった。」
小林廣喜さんはここでのタカ類の渡りの可能性について述べています。

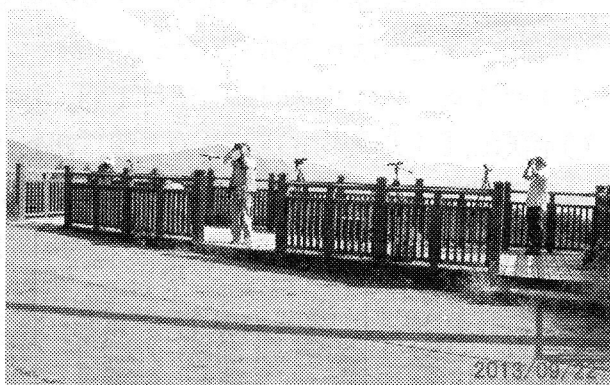
○笠懸総合運動場は「渡りらしきものはノスリ2羽のみのよう。ツバメの姿も全く見られず、台風18号通過直後が当地(群馬)における渡りのピークだった(?)」と水野博品さんは残念そうに結んでいます。

○城沼は「渡りはノスリ2羽のみで、1個体で南西方向へ飛んで行った。」松本文勝さんは物足りない結果を表しています。

○桜山は「桜山駐車場も桜の枝が茂って見通しが悪くなり、昨年よりイベント広場へ移動した。北東方向の見通しが悪いが、他は下方まで視界が開けている。本年も居付きのノスリの飛翔は観察されたが、タカ類の渡りは“0”であった。」2年続けて渡りが確認できなかった鈴木正利さん、2014年秋に期待したいですね。

○境島村は「台風一過の9月17日から6日連続で快晴(晴れ)が続いている。そんなせいか、サシバの2群11羽(4羽、9:20、7羽、9:48)は高くて見つけにくかった。カケス、ヒヨドリの移動はまだ極少」とこの日の状況を小茂田英彦さんは簡潔に述べています。

○渋川運動公園は「風もなく穏やかな日であった。天気は良いが少し霞がかかっていた。し



渋川運動公園での観察の様子

かし、数km先を見るには支障はない。3~4km位なら種の識別は可能であり、期待をしながら観察した。9:00頃、南西方面、水沢山付近にクマタカが出現、昨年に続き参加者にとっては良いプレゼントとなった。その後、ノスリやホトトギス類のsp.、ツバメ、イワツバメ等が現れたが、渡りのタカはなかなか見られない。10:40に北方はるか遠くに旋回上昇するハチクマを確認、3km以上あった。それは高度をかなり上げた後、調査地方向にゆっくり飛翔し、少し手前でコースを西に変え山を越えて消失した。白色系のハチクマはやや距離があり細かな個体の特徴は確認できなかった。今年も渡りの確認は1羽のみであったが、新たな方向からの飛来に来年が楽しみである。ちなみに初回から今まで、第一発見者はすべて関口裕さんで強力なスタッフである」と詳細な初見を飯塚博文さんが記してい

ます。
○小茂田英彦さんから境島村での11日間（9月17日～9月30日）にわたるタカ類の渡りの観察結果が寄せられていました（別報を参照ください）。それによるとサシバの渡りは9月18日（ピークで20±羽）～9月22日で終わっていました。
○太田市の水道山では9月27日にツミ1羽の渡りを確認しただけでした。

2013年は前年と同様にタカ類の渡りの数が少なく、残念な結果に終わってしまいました。その中で今秋も連日の観察をされた小茂田英彦さん（飯島勝美さんが加わる）のレポートが光ります。「骨」伝授していただけるとありがたいのですが…。

今秋のタカの渡りで不完全燃焼に終わった方には、下記の随筆は如何でしょうか。

『鳶と油揚げ』 寺田寅彦 昭和9年9月
タカの仲間が好きでたまらない方々に、彼らの行動をどのように観察すると楽しいか教えてくれる貴重な小文と思います。

終わりに本観察会に参加された方々、並びにデータを提供して下さった方々に厚く御礼を申し上げます。

<データ提供者> （敬称略）

小茂田英彦（伊勢崎市）

水野 博晶（桐生市）

PS.

「日経サイエンス」2013年7月号に面白い記事を見つけました。

1 「翼を得たシチズン・サイエンス」

H. ロズナー

“バードウォッチャーを鳥類研究に組み込む地味な試みが大量の貴重なデータを生み出す源になった。科学研究のルールが書き換えられるかもしれない”と記してあります。

2 ブックレビュー

「鳥たちの驚異的な感覚世界」

ティム・バークヘッド著

沼尻由起子訳、河出書房新社刊

上田恵介氏（立教大学）の評が“私たちとはこんなにも違う！鳥たちの五感の不思議”として読めます。約80年前の寺田寅彦の随筆と一緒に読むと良いのではないかと思います。
（まとめ 堀口忠男）

2013年タカの渡り
（伊勢崎市境島村利根川右岸）
小茂田英彦

9月18日、下流を双眼鏡で注視していると、いつものように送電線の向こうにうっすらタカ柱が入る。半逆光で眩しく、まだ千m以上離れている。高度を稼ぎ滑翔しだしたサシバは、去年と同様右へ流れ、我々の期待を置き去りに南西へ渡って行った。一群15羽±。

今シーズンは、いずれの渡りも遠く、また、ハチクマが見られず、心残りのまま終了した。

2013年10月2日

※ 観察日等は、表1、表2のとおりです。

表1 観察日時等（2013年秋） 境島村利根川右岸

月日	観察時間	天気	観察者
9/17	9:00～11:30	快晴	小茂田英彦
18	8:40～11:10	〃	小茂田・飯島勝美
19	8:00～11:10	〃	小茂田
20	7:50～11:15	〃	小茂田・飯島
21	7:50～11:00	晴のち快晴	小茂田
22	8:00～11:00	晴	小茂田・飯島
23	8:40～10:40	曇	小茂田・飯島
27	9:10～11:20	快晴	小茂田
28	8:40～11:30	〃	小茂田・飯島
29	8:40～11:20	〃	小茂田・飯島
30	8:50～10:10	〃	小茂田

表2 観察数（2013年秋）

月日	サシバ	ハチクマ
9/18	20±	
9/20	3	
9/21	1	
9/22	11	
計	35±	0